

家屋調査

House Investigation

家屋調査の概要

公共工事や民間工事（建築・解体工事・上下水道）などの、さまざまな工事においては、振動の発生や地盤の変動などで、近隣家屋に影響を招くことがあります。その為、工事を行う際の近隣対策の一つとして家屋調査があります。

家屋調査は第三者が、工事により影響を受ける可能性があると思われる、敷地内（住居内外部や、駐車場、塀等の工作物）が対象となります。

事前調査

建物や工作物の現状を正確に把握するために、写真撮影します。外部は勿論ですが、所有者様・使用者様の了解を得た上で建物内部の調査も行います。

経年変化も含めた現状の様子、亀裂や隙間、破損等の幅や長さ、また、漏水状況や建具の不具合、現状での建物の傾きや沈下状況等、写真撮影とともに計測し記録します。

事後調査

事前調査と同様に、各所の現状を写真撮影します。事前調査での記録と対比し、現状の様子、亀裂や隙間、破損等の幅や長さ、また、漏水状況や建具の不具合等、また、現状での建物の傾きや沈下状況等、写真撮影とともに影響の有無を記録します。

この事前調査・事後調査によって、工事前からの損傷であるのか、工事の影響による損傷であるのかなどを判断します。

参考写真

